

教員名	水口 剛	所属学科	経営学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>私の専門分野は責任投資と非財務情報(特に環境情報)の開示と言って、これは企業にお金が集まる「投資」という仕組みを通して、環境問題や社会問題を解決していこうという考え方です。しかし、ゼミではもう少し幅広く、その周辺の話、たとえば企業の環境問題への取組みや企業の社会的責任(Corporate Social Responsibilityの略でCSRと言います)、企業の環境報告書やCSR報告書などを取り上げています。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>ゼミは「演習」と言って、「講義」とは違うと考えています。どこが違うかという点、講義は「教員が知識を伝える場」であるのに対して、演習は「学生さんが知識を使ってみる場」だということです。「演習」って、そういう意味だと思いませんか？</p> <p>では、具体的にどうするかというと、毎年何か特定の課題やテーマを決めて、ゼミ生みんなで取り組むということをしています。2年生では環境に関連するテーマで討論をし、3年生では「インナー大会」という関東地方の大学のゼミが共同で行うプレゼンテーション(発表)大会や討論会に出場したり、実際に高崎経済大学のCSR報告書を作ってみたりしています。試作したCSR報告書は、ホームページに掲載していますので、ぜひ見てみてください。(http://www1.tcue.ac.jp/home1/mizu/intro.html)</p> <p>毎年どんなテーマで活動するかもゼミ生が話し合っていて決めています。なぜだと思いますか？それは、ゼミで学ぶ一番大事なことは「自発性」だと思うからです。大学を出たら、もう誰も授業をしてくれません。それでも自分で問題を見つけて、自分で解決していかなければならない。そのためのトレーニングをするのがゼミだと思うのです。自発性は、自発的に行動してみなければ身に付かないのです。</p> <p>そして4年間の集大成として4年生では卒業論文を作成します。自分でテーマを決めて自分で研究するというのを、実際にやってみよう、ということです。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>即効性のあることを学ぶわけではありませんが、卒業生は社会でしっかり頑張っています。卒業生の進路は金融関係が多いのですが、販売関係や情報関連に進む人もいます。公認会計士になった人が2人、大学院に進んだ人も2人です。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>私の研究分野を知って頂くには水口剛著『ESG投資』(日本経済新聞出版社)、『責任ある投資』(岩波書店)がいいと思います。責任とか利他主義という考え方がどこから来たのかを考えるには、NHKスペシャル取材班の『ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか』(角川書店)をお勧めします。面白いですよー。</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>この欄は高校生の方向けにメッセージを、ということですが、私からのメッセージは「世の中のことに興味を持とう！」です。大学に入って大事なことは、自ら「勉強しよう」という気になれるか、ということです。つい遊んでしまいがちですが、社会に関心があれば勉強する気になれるのではないかと思います。</p>			